

緊急地震速報を使った「世界一短い避難訓練」

— デッドラインまで20秒 命を守る最低限の行動 —

「ピュンピュンピュン 地震が来ます earthquake」。徳島大学工学部の緊急地震速報。この音を聞いてから、あなたに与えられる時間は長くて20秒。その時間を利用して命を守るためにどんな行動をとるべきか。その答えはあなたの立場、状況、周りの環境により変化します。以下で、緊急地震速報を聞いた直後の行動を、立場、状況、環境の違いごとに見てみましょう。

1. 言葉の定義

- ① 安全姿勢・・・しゃがんで頭を守る
- ② セーフティゾーン(SZ)・・・頭上、周辺に倒れてくるもの、落ちてくるもの、のほか蛍光灯や窓ガラスなどの割れ物がなく、自分のいる場所から数メートル以内の比較的安全な場所
- ③ 出入り口の確保・・・講義室、実験室、研究室などでは緊急地震速報を聞いたら出入り口を開ける



<安全姿勢>

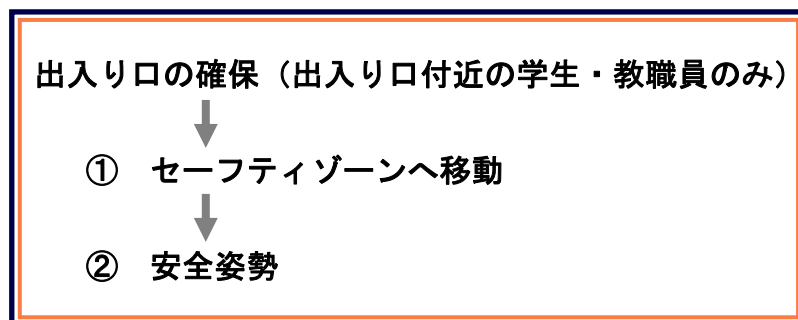


<SZはありますか?>

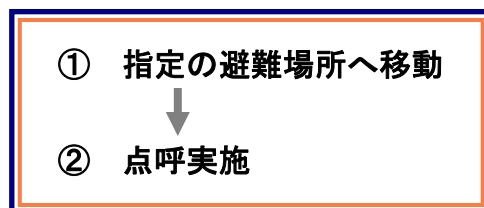


<出入り口の確保>

2. 緊急地震速報を聞いたときの基本行動



3. 揺れがおさまったときの基本行動



<避難場所マーク>



<点呼方法>

学生：自分の隣に座っていた人や友人がいるか確認し担当教員に報告

教員：<講義中・実験中> 受講生に点呼を呼びかけその結果を確認

<研究室> 自分の研究室に在籍する学生がいるか確認

*実験室で実験中など離れている学生の安否も忘れず確認

教員は点呼後、速やかに管理者（講義・実験中は管理係担当者、その他は各学科長）に点呼結果を報告





4. 各状況におけるその他注意点

4.1 講義中(学生)

- ・ 安易に講義室の外に出ないでください。廊下も同じような危険が存在する上に人が多ければパニックになることも想定できます。



< K棟廊下 >

4.2 講義中(教員)

- ・ 学生には落ち着くよう指示してください。
- ・ 外に出ようとする学生がいたらとどまるよう指示してください。

4.3 実験中 ★★Caution!★★

< 薬品を扱っている場合 >

- ・ 劇薬指定の薬品は蓋を閉めるなど最低限の片付けをしてください。片付けが間に合わないと判断した場合は薬品から離れてセーフティゾーンへ移動後、安全姿勢を取ってください。
- ・ 薬品庫には近づかないでください。そばにいる場合は薬品庫の扉だけは閉めてください。



< 蓋を閉める >



< 火気を扱っている場合 >

- ・ 緊急地震速報を聞いたら、火は速やかに消してセーフティゾーンへ移動後、安全姿勢を取ってください。間に合わず火災が発生した場合は初期消火に勤めてください。火が天井に燃え移りそうになれば、すぐ避難してください。



< 火を消す >



< 初期消火 >



< 機械を停止 >

*初期消火：火災発生直後の炎が小さいうちに行う消火活動

< 機械工作等の大型機械を使用している場合 >

- ・ 決められた手順で機械を停止させて担当教員の指示に従ってください。

4.4 研究室

- ・ デスクの下へ潜れるならば速やかに潜り机の脚の対角を握ってください。脚の対角が握れないと判断した場合はデスクの下へは入らずにセーフティゾーンを捜して安全姿勢を取ってください。
- ・ コマ付きの椅子は不安定です。椅子からは離れてください。
- ・ PCは落下すると壊れます。日頃からPC本体が落下、転倒しないように固定するなど工夫してください。



< 危険な椅子 >



< PCの固定 >

4.5 エレベーター ★★Caution!★★

- ・ 緊急地震速報が聞こえたら速やかに今自分が通過している階を中心に、全ての階のボタンを押してエレベーターを停止させるよう努めてください。
- ・ エレベーター停止後はエレベーターホールでセーフティゾーンを捜し安全姿勢を取ってください。



< ボタンを押す >



< EVホール >

4.6 階段 ★★Caution!★★

- ・ エレベーターホールもしくは踊り場でセーフティゾーンを捜し安全姿勢を取ってください。階段は非常に危険な場所です。階段の途中で手すりにつかまっただま揺れを待つなどの行動は避けてください。



< K棟階段 >



< 階段は危険 >